

タイトル	Park! Park! Park!車は停めて 駅やまちをまるごと広場のよう 自由に使い ひとが立ちどまりたくなる おぎくぼ
提案者 (所属・代表者)	八千代エンジニアリング株式会社 (提案代表者：星野武司)
整理番号	32
賞	銀賞

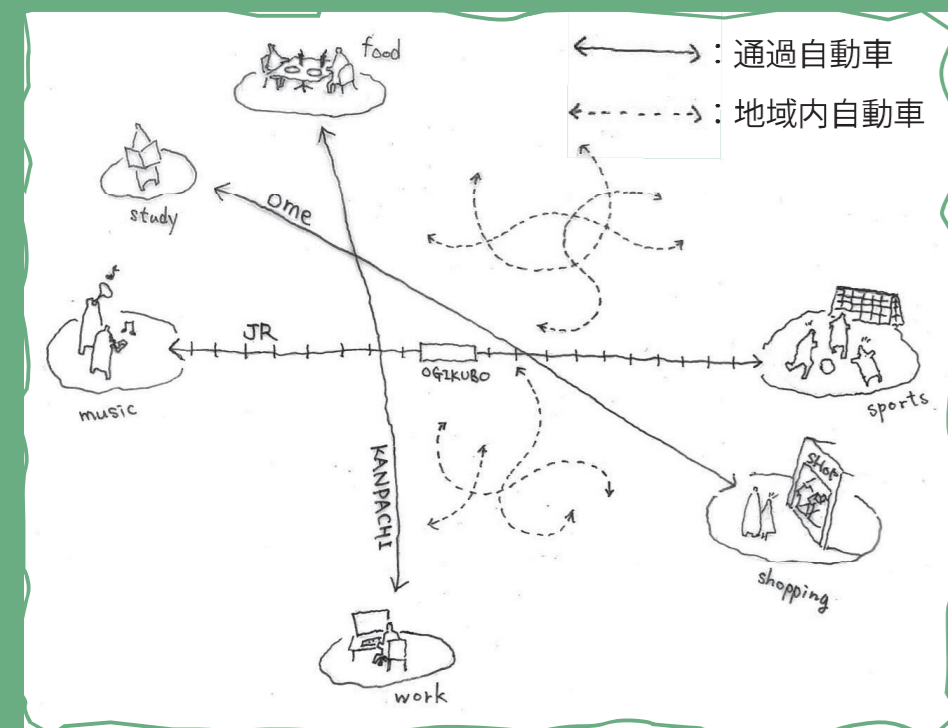
**【注意事項】**

本資料は、平成 24 年に杉並区が開催した「これからの荻窪駅周辺まちづくりを考えるアイデアコンペ（以下、アイデアコンペ）」において応募者から提案された一作品です。今後の荻窪におけるまちづくりの方向性を決定するものではありません。

アイデアコンペの詳細については、以下のページをご覧ください。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s094/6497.html>

# PARKが、おぎくぼのまちを変える

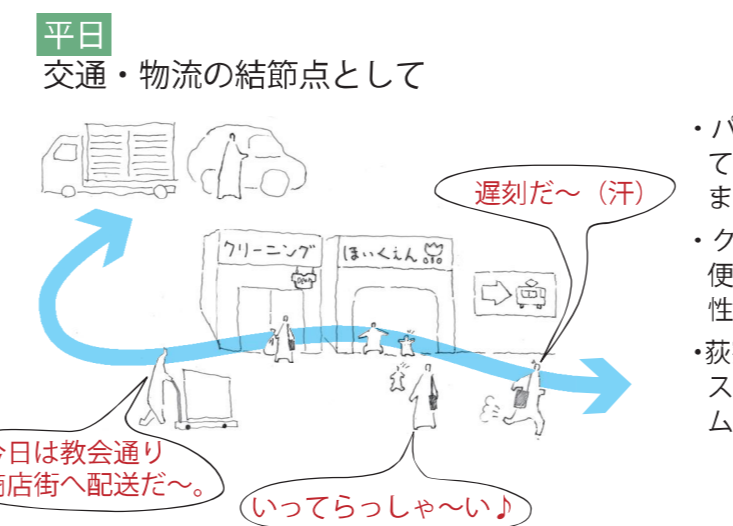


1.2万人が駅を利用し、10万台の自動車通過する荻窪。彼らは、それぞれの目的地で、多様な活動を行っています。一方、生活の場であるまちなかでは、商店の荷捌き車両などが生活道路を狭めています。

大きなPARKをつくります。通過していた自動車を呼び込むことで来街者が増え、PARKを拠点に多様な活動が展開され始めます。また、まちなかの自動車をPARKに収容することで、生活道路はひとが安心して使える空間になります。

PARKでの活動がひと中心の空間にしみ出し、来街者と住民と一緒に楽しむ豊かなまちづくりが始まります。荻窪のまちが、まるで大きな広場のように、人々に使われるようになります。

## 収容台数1,500台!! コアパークの魅力



**平日**  
交通・物流の結節点として

- パーク & ライド優先割引駐車場として位置づけ、公共交通利用を促進します。
- クリーニングや保育園など、生活に便利な施設を配置し、通勤時に利便性を高めます。
- 荻窪地区の共同配送(荷捌き)スペースを確保し、物流のプラットフォームとなります。

**休日**  
人々が交流するイベント広場として

- 移動販売車が車を停め、市民にサービスを提供できます。
- クラシック音楽祭など、荻窪らしいイベントが開催できます。

## 現状認識①交通結節性

強い課題  
広い範囲から人が集まる高いポテンシャルを活かせていない

- 駅 500m 圏の昼間人口 4 万人程度に対し、駅利用は 12 万人以上 (乗車)
- 駅利用者の 2 割以上がバス利用→駅アクセスが悪い停留所あり
- 9000 人の駅利用者から自転車利用→駐輪場は 8000 台弱、駅周辺の商業施設利用を含めた駐輪場が不足
- 500 人の駅利用者が車利用。荻窪駅以東では 100 人以下であり、境界点 環八 55,000 台/24h、青梅 40,000 台/24h の自動車交通

## 拠点利便性の強化のための視点

- 南北まちなか～バス～駅アクセスのシームレス化
- 自転車・自動車・歩行者動線の分離
- ひろびろとした駅空間の確保による混乱解消
- 通過交通である自動車を地域に取り込む

## 現状認識②個性

強い課題  
良好な住宅街だが、周辺都市と比較してまちの個性に乏しい

「クラシックのまち」イメージが住民にも来訪者にも広がっていない

- 商店街間・地域住民で連携した取組が乏しい
- 商店街や生活道路は自動車通過が少なく、地域に密着した安心感あり公園や広場など、人が滞留して自由に過ごせる場所が少ない

## 魅力ある地域づくりのための視点

- 商店街・生活道路から自動車・自転車を極力排除し、荻窪独自のコミュニティ道路網を形成
- 道路空間を中心に、沿道店舗や住宅を活用した
- 草の根型イベント等を日常的に実施 駅近にイベント拠点となるスペースを確保

## 現状認識③防災性

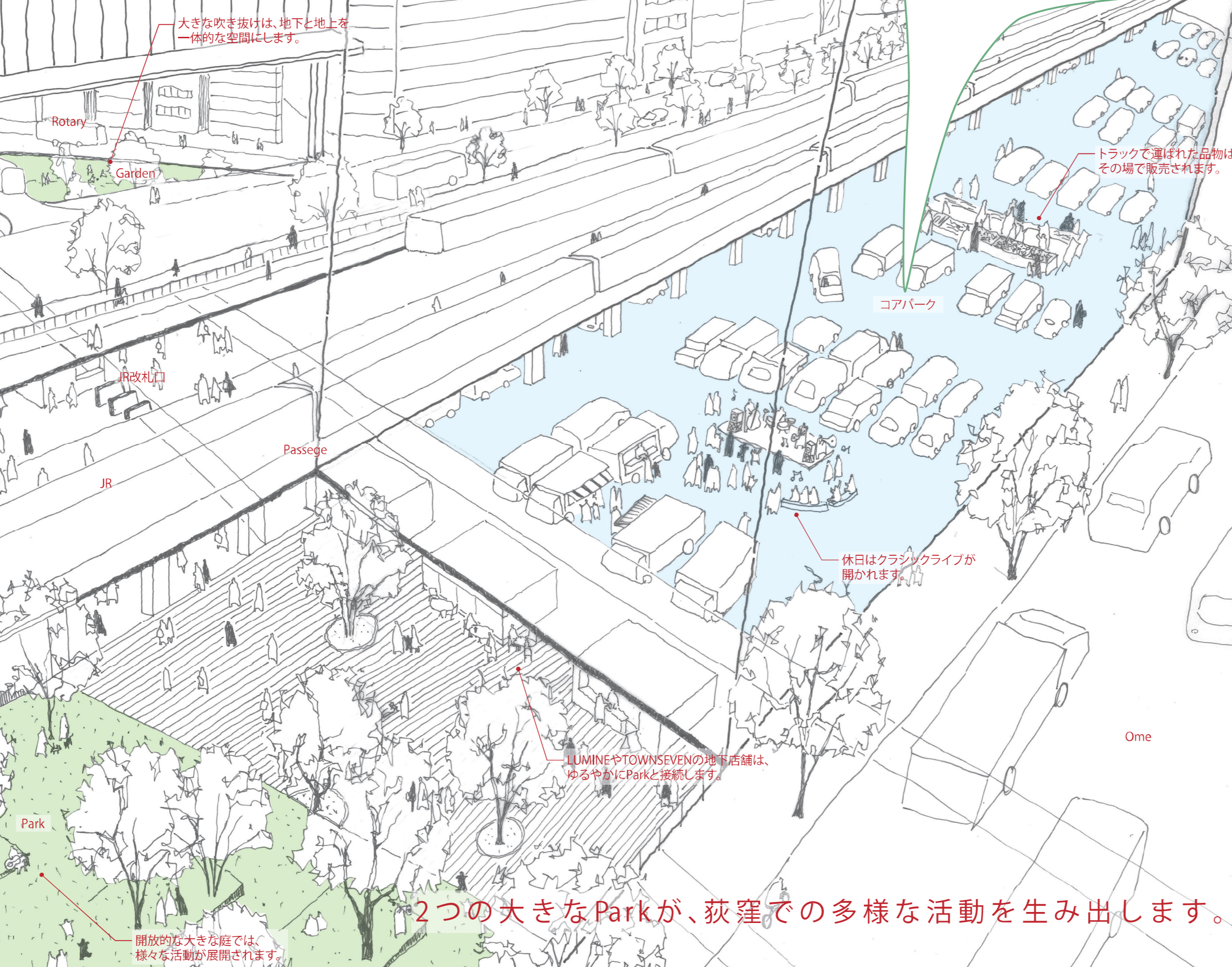
強い課題  
周辺と比較して地震に強いが、水害に強い備わっている

- 阿佐ヶ谷・高円寺方面に広域避難場所(善福寺川緑地)へのアクセスが悪い地域あり
- 青梅・環八が延焼防止帯となり、駅周辺は火災危険度が高い地域
- 線路沿いの地下に「洪水時遊水池」兼「地震時防災拠点」を形成
- 再開発による不燃性向上・備蓄協定

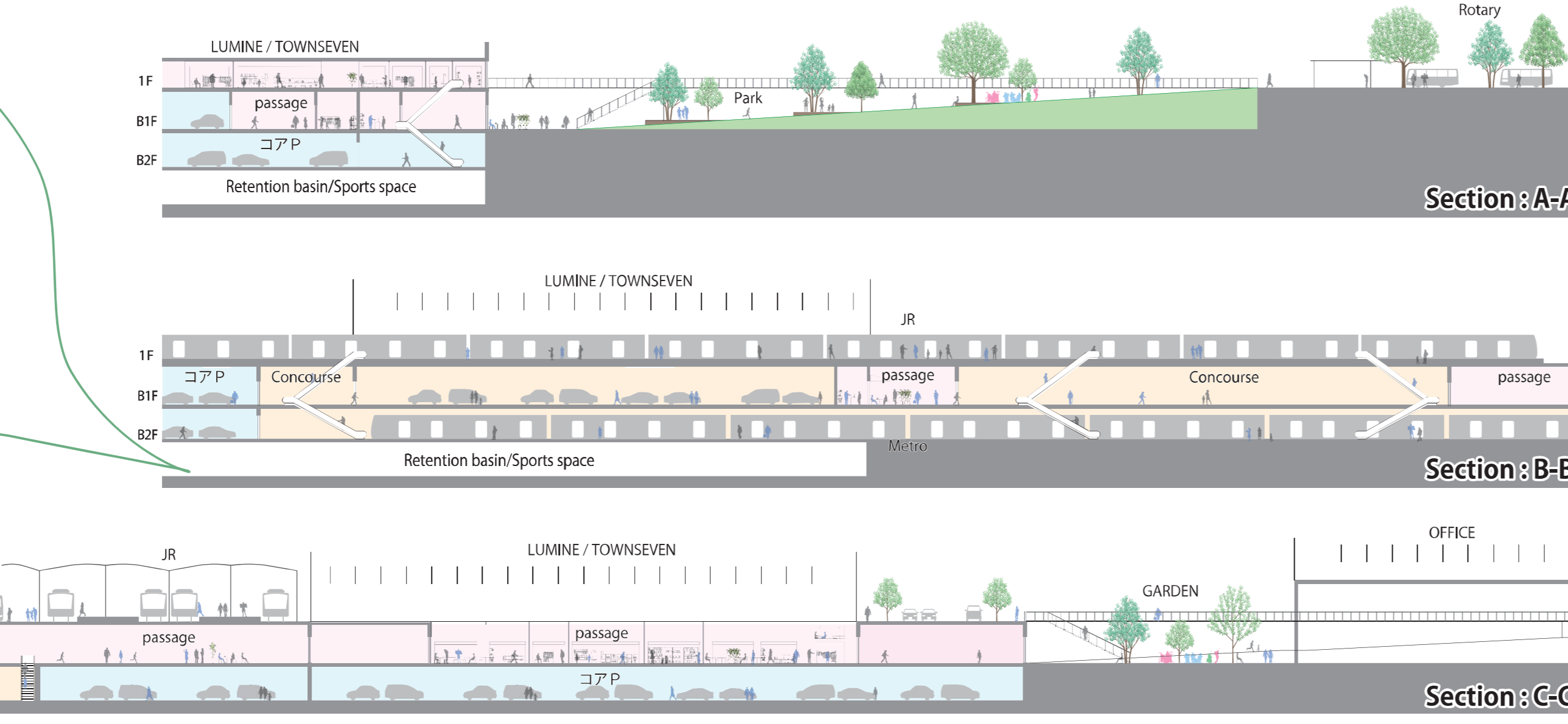
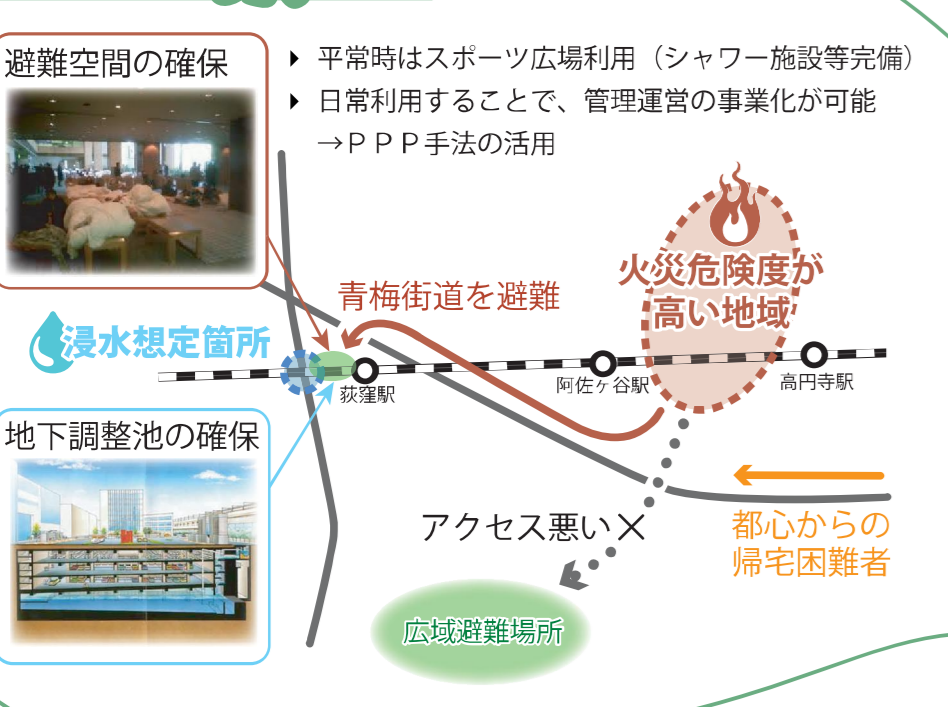
## 防災力強化のための視点

- 「災害に強い荻窪」のブランドイメージ形成
- 線路沿いの地下に「洪水時遊水池」兼「地震時防災拠点」を形成
- 再開発による不燃性向上・備蓄協定

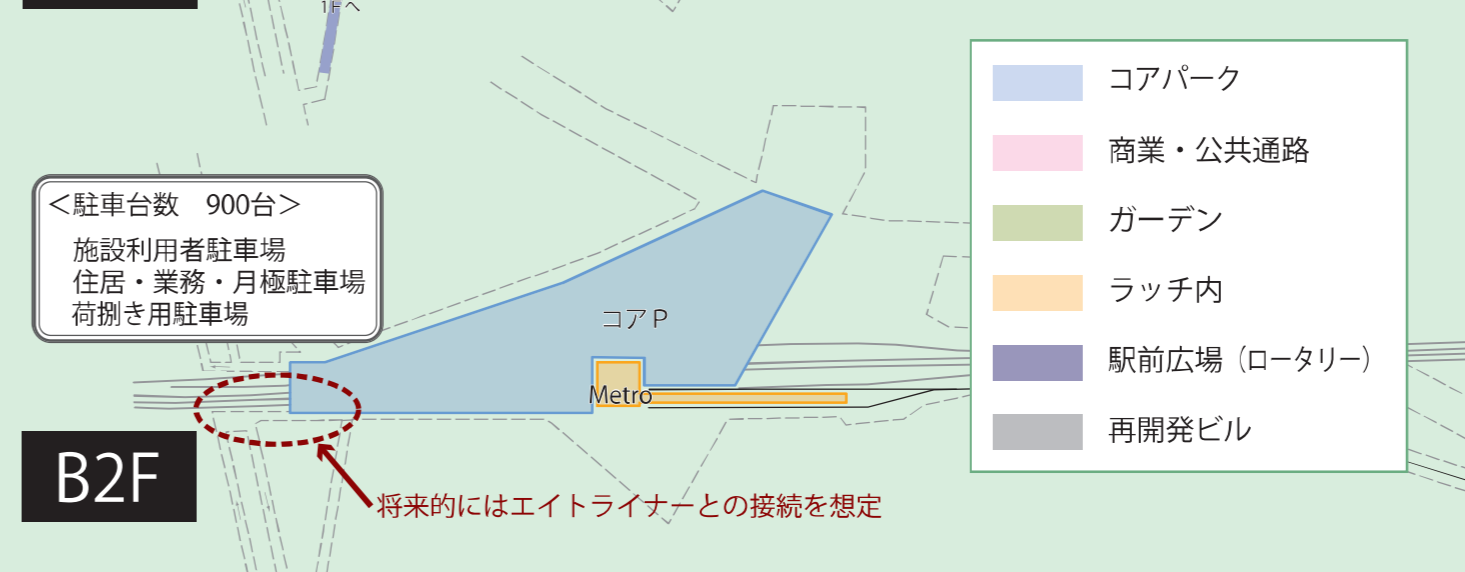
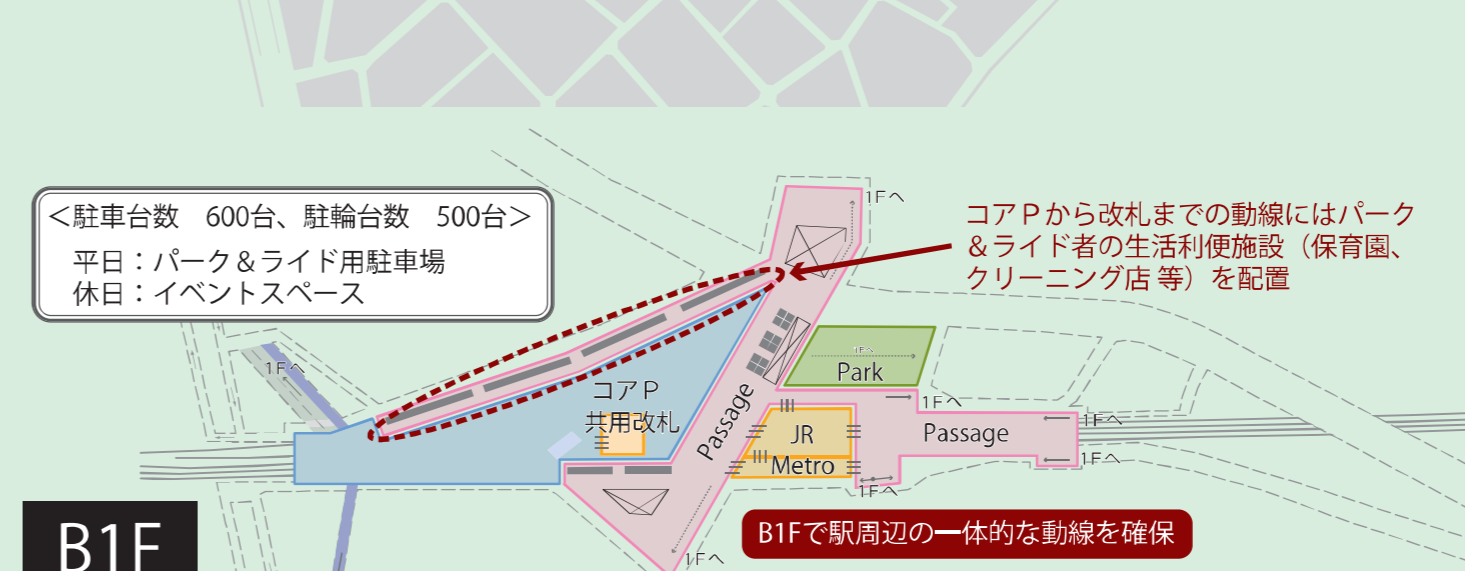
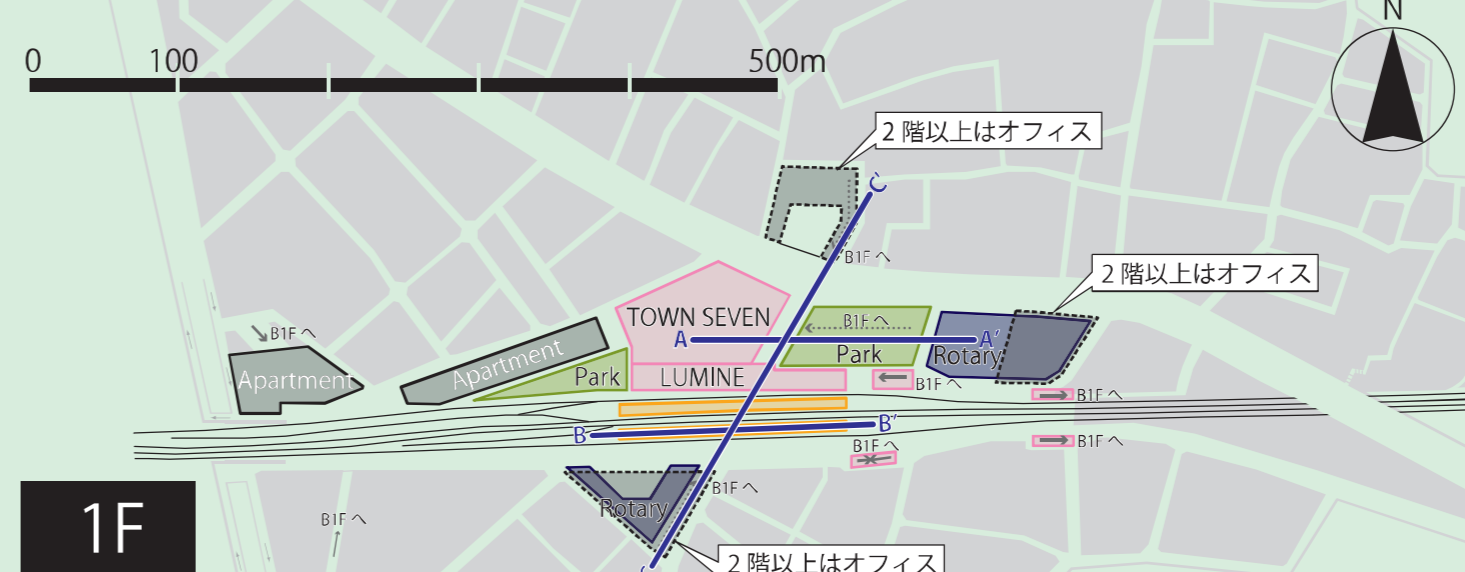
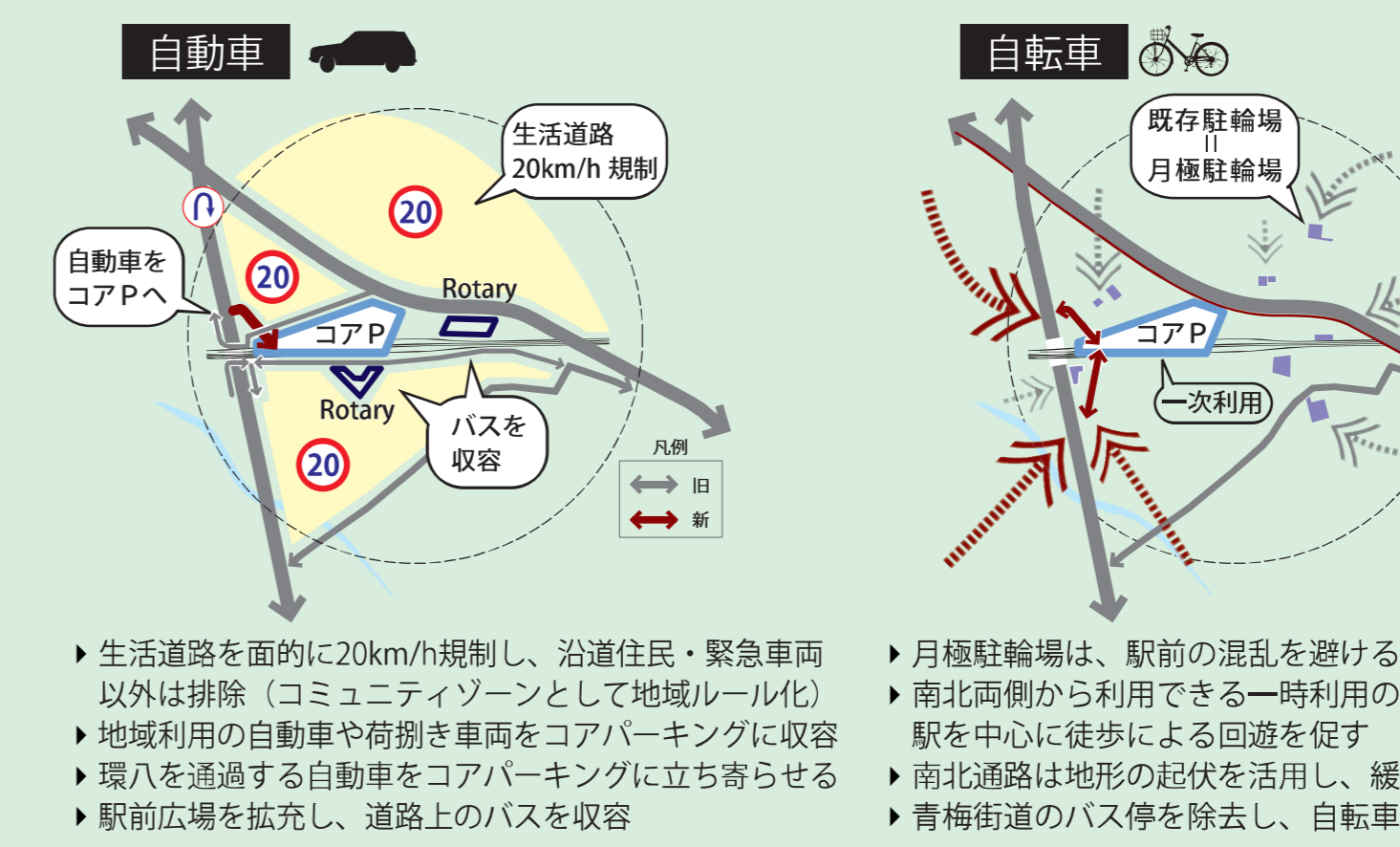
**DARK!** 車は停めて 駅やまちをまるごと 広場のよう自由に使い ひとが 立ちどまりたくなる おぎくぼ



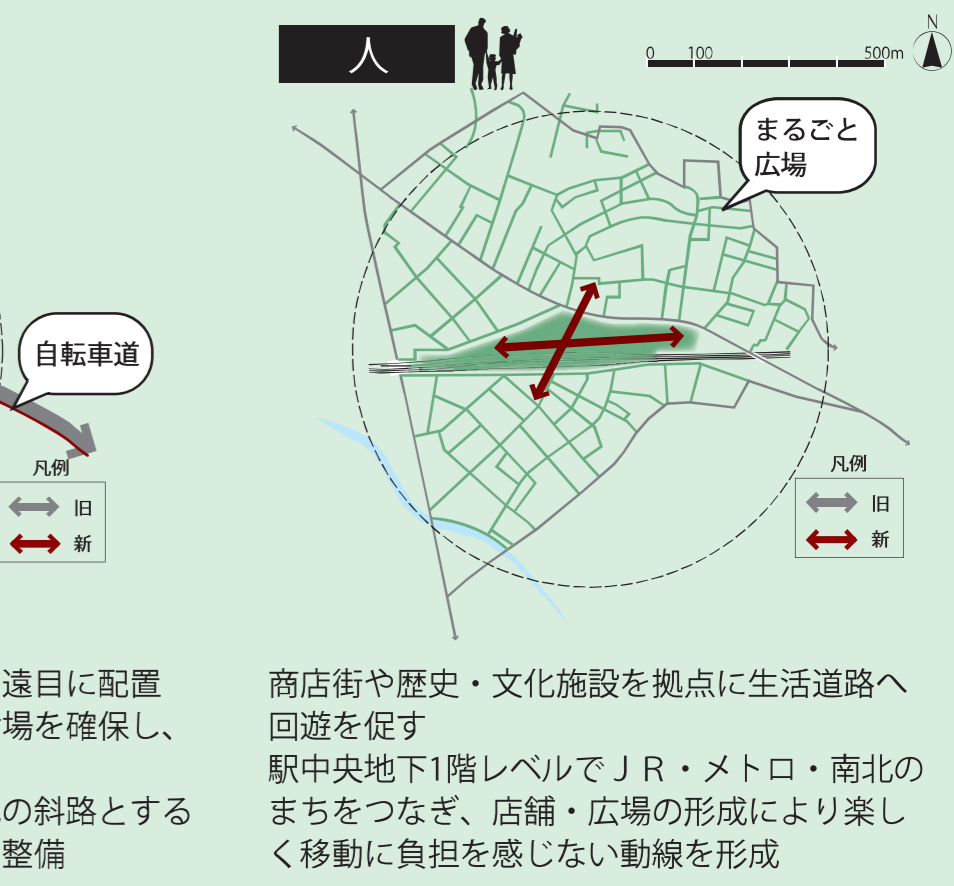
## コアパークの防災機能



## コアパーク整備によるまちの変化

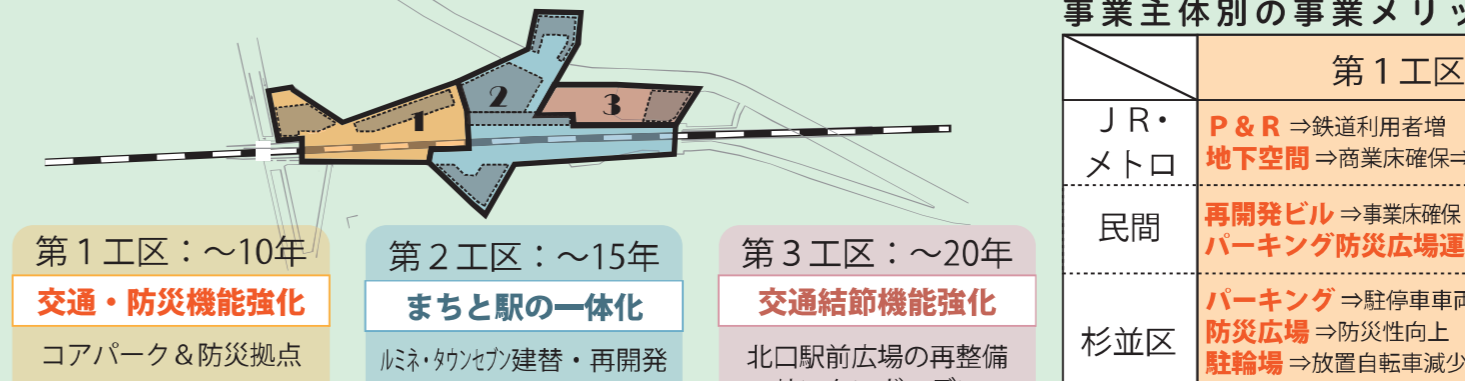


## 区民が進める まちなかまるごと広場



子どもたちの遊び場として  
沿道店舗の参り出し(看板や商品など)  
イベント「クラシックビールを飲みながらクラシック」  
イベント「まちじゅうみちじゅうフリーマーケット」  
区: 道路整備(歩行者用舗装・緑化)、マネジメント支援  
地域: 維持管理、イベント時の占用等のルールづくり

## 再開発を中心とした実現へのステップ



事業主体別の事業メリット(工区別)	第1工区	第2工区	第3工区
JR・メトロ	P&R ⇒ 鉄道利用者増 地下空間 ⇒ 商業床拡充	コンコース改良 ⇒ 乗換等円滑化・混雑緩和 地下空間 ⇒ 商業床拡充	北口改良 ⇒ バス乗降円滑化
民間	再開発ビル ⇒ 事業収益(2棟) パークینگ防災広場運営 ⇒ 事業収入	再開発ビル ⇒ 事業収益(4棟) コンコース改良 ⇒ シームレス化による利用者増	再開発ビル ⇒ 事業床確保(1棟)
杉並区	パークینگ ⇒ 駐停車両減少 防災広場 ⇒ 防災性向上 駐輪場 ⇒ 放置自転車減少 自転車道路 ⇒ 南北動線確保	コンコース改良 ⇒ 南北分断解消 南口ロータリー ⇒ バス乗降場確保 道路安全性向上 ⇒ 道路安全性向上 サンクンガーデン ⇒ オープンスペース確保	北口ロータリー ⇒ バス乗降場確保 ⇒ 道路安全性向上 サンクンガーデン ⇒ オープンスペース確保